

【様式1】

概要書

研究名	東山円筒分水槽のモデル製作
民間機関等 (相手方)の名称	魚津市役所
研究の概要	<p>農業用水などを一定の割合で正確に分配する目的で建設された円筒分水槽という利水施設が魚津市にはいくつか存在しており、東山円筒分水槽が魚津市の東山地区にあり、この円筒分水槽は2020年に国の登録有形文化財として登録された。今回、このような魚津市を代表する東山円筒分水槽をモデル化して、魚津埋没林博物館のパネル展示と併せて同館に展示できる東山円筒分水槽のモデルを製作・展示し、東山円筒分水槽の認知を高めていく。</p> <p>実物や魚津市が有する図面を基にモデルを設置する埋没林博物館のスタッフの方と意見交換しながらモデル製作を検討する。また分水槽の構造の説明や水の流れを表現することも検討する。総合制作として電気エネルギー制御科の学生も製作作業に協力する。</p> <p>CADデータ化し、3DCADで3Dモデルを作成。分水槽本体、水路を含めた3Dモデルを作成し、3Dプリンタで出力する。水の流れを表現するためにマイコンで制御されたLEDテープを取り付けている。完成したモデルは魚津市にある埋没林博物館に展示する。</p>